

ゆうゆう通信

埼玉県新座市シルバー人材センター会報



新座市内から見る日の出

— 目次 —

- | | | | |
|-----|-----------------------------|------|---------------------|
| 2 頁 | 新年の御挨拶 福島理事長
↳ 職群班長 私の抱負 | 7 頁 | 言いたい放題 時事呆言 |
| 3 頁 | クローズアップ地区活動 | 8 頁 | 私のゆうゆうエンタメ |
| 4 頁 | 新・職場探訪 | 9 頁 | 心に残る私のふるさと／ゆうゆうエッセイ |
| 5 頁 | 総務委員会報告／会員開発委員会報告 | 10 頁 | 私のスナップ |
| 6 頁 | 新座市内をもっと楽しみましょう | 11 頁 | 親睦会だより |
| | | 12 頁 | SC掲示板／編集後記 |



センター40周年 節目の新春を迎えて

シルバー人材センター理事長 福島 和男

明けまして
おめでとうございます



皆様には、
お健やかに新春を
お迎えの
ことと心か

らお喜び申し上げます。

昨年は、会員の皆様のセンター諸活動への真摯な取り組みと就業へのたゆまぬご努力をいただくなかで、なおいくつかの課題を残しながらも全体として安定したかたちで年越しすることができました。

会員および賛助会員の皆様のご協力と、仕事をご発注くださいました団体や企業の皆様からの温かいご支援に、あらためて心から御礼を申し上げます。

「フレイル予防」への

取り組み

昨年、センターは《フレイル予防》の新しい取り組みをスタートさせました。

私たち高齢者自身が「支えられる側」から「支える側」へと意識を転換することが求められる時代のただ中にあります。心身ともに活動的な日常生活ができる期間が長い「健康長寿」を目標に行動する大事な時代ともいえましよう。

リーダーとなるサポーター会員の力をいただきながら、健康長寿への取り組みをさらに充実させてまいりたいと思います。

センター40周年

本年センターは設立40周年の節目の年です。地域とともに歩む公益社団法人として、会員一同力を合わせて、今まで以上に市民に親しまれる組織として発展してゆく所存でございます。新しい年が皆様にとってなお輝く年となりますよう、ご健勝にてご活躍されますようお祈り申し上げます。

職群班長 私の抱負

新座市SCは「自主」「自立」「共働」「共助」をモットーに、72の職群班に分かれ、就業中。班長に「私の抱負」を聞きました。

「ワンチーム」を目指す

テニスコート管理班
富岡 洋則



夏は炎天下で乾燥してひび割れを起こすし、

本多、野火止、西堀のテニスコートを整備、管理しています。就業は、それぞれのテニスコート専任で、全員で12名います。コートは全部クレー(土)で、天候に影響を受け易いので気を遣います。冬は霜や雪で使えないことも。ブラシをかけるにしても、半乾きの状態の時に実施。足や指でコートの状態

を確かめながら、化粧砂を散布してます。特に夏は時間との戦い。コートが5面あると、日陰によって乾きが違ってくる。利用できるかどうか、問い合わせに追われることもあり。一人ひとりがバラバラにならず、情報を共有することが大事だと思ってます。目標は、連絡ノートを活用したワンチーム。整備のスキルを高めて、利用者に喜んでもらえるよう頑張りたい。

町内会と協力、地域奉仕

栗原5丁目駐輪場管理班
梶崎 重信



たい。お客さんに「お世話になりました」とお礼を言わ

れるとね、嬉しいしね。私は片山の地区長もやってます。町内会と協力して芋煮会とか餅つきとか、夏には盆踊りとか。児童公園の草むしりもやってる。趣味はカラオケです。北島三郎が好きだね。新年も元気で働きたい。

育児の「班だより」発行

育児サービスマスター
佐藤 静子



毎年4月に新しい子供たちが入園してきます。てんやわんやですが、子供たちは可愛いし、ほほえましい。私達の班は、班長1名に副班長3名、さらに就業先ごとの小グループに分かれるという構成です。就業先は幼稚園5か所、保育所23か所で、1か所につき事務を含めて4、5名を配置。総人数は80名になります。横のつながりをどう持つのが簡単ではありません。お茶会や懇話会を開いています。会場選びに苦労することゝ

も。それに就業先の様子などを寄稿してもらった「育児サービスマスター」を3回発行しています。コミュニティアクションを取り、働きやすい職場にしたいと思っています。

トラブルない楽しい職場

畑中公民館管理班
棚橋 拓次



これがうまくいかないかとトラブルにつながります。

シルバーは女性2名、男性5名で就業しています。就業時間は朝番と夜番があり、朝番は主に女性、夜番は男性です。仕事は予約の受付、利用料の収納、清掃など。班長の仕事は市の職員とシルバーの連絡調整になります。

毎月就業予定表の作成はいつも悩みます。皆さんが不満ひとつ言わず黙々と勤めてくれるので感謝しています。今後も皆様の協力で、トラブルを少なくし、楽しい職場になれば、と思っています。

子供の笑顔が励み

学校用務1班
吉村 省三



後から男性。隔日の就業です。午前中は女性、午

主に清掃が仕事です。校庭の落葉集めとか。それにガス、水道の検針。施錠の確認。男性と女性の4人です。子供たちが笑顔でありさつしてくれるから、それが励みですね。私の元気の秘訣は睡眠。夜は8時過ぎに寝て、朝7時ごろ起床。たっぷり10時間は寝ることにしている。

スムーズな業務が目標

中央公民館管理班
須川 英一郎



予約や料金の収納を行います。女性の多い、女性は月ごとに集計作業も

シルバー会員は女性2名、男性5名で就業。設備の維持管理が仕事です。部屋の

ています。特に注力しているのは、四季折々ですが、館内外の清掃、各部屋の点検、雑草抜き、樹木の適度な剪定、摘果など。滞りのない業務実施が最大の目標です。

新施設へ意識改革

志木駅周辺駐輪場管理3班
赤澤 正直



大事なことは班員全員が健康で安全に就業できること。

志木駅周辺の駐輪場は富士塚、三軒屋、三軒屋公園前、志木駅南口の4か所あり、58名が4班構成で、早朝から深夜・未明まで交代で就業しています。就業マニュアルは4か所同じです。大事なことは班員全員が健康で安全に就業できること。

丁寧な接客、場内の整理整頓。新年の抱負は、4月に迫った志木駅南口の新地下駐輪場開設に向けて意識改革を図ること。管理システムも新しくなると聞いています。研修を行って、利用者からの問い合わせにも問題なく対応できるようにしていきたい。

クローズアップ地区活動

地区懇話会で フレイル予防教室

野火止5丁目(9地区)

昨年10月の地区長会議でフレイル予防教室開催が提案され、いち早く実施した9地区(櫻地区長)の教室を今回取材しました。



③栄養・社会プログラム
本来1時間の内容を今回は運動プログラムを中心に約30分に短縮しました。初めにフレイルを予防するための3本柱(体力・栄養・社会参加)について解説。次に運動プログラム。まず準備運動で体を温め、続けてじゃんけんゲームやステップタッチなど脳トレのようなコーディネーション運動です。これが意外と楽しく笑いに包まれ大いに盛り上がりました。

最後にストレッチ・筋力運動です。運動は「ゆっくり・使っている部位を意識・楽過ぎず・辛過ぎず・適度な強度・息を止めず・マイペース」が基本だそうです。終了時には誰もが薄っすらと汗をかき、とても爽快な気分になったとの評価でした。

内容は次の3本立て

- ①フレイルとは
- ②運動プログラム

皆様の地区でも是非いかがですか。教室の申込は必ずSC事務局船津局長までご連絡ください。(石井)

新・職場探訪

「観光プラザ」

野火止1丁目



新座市役所の周辺が大きく変化しました。庁舎の引っ越しが進み、来庁者駐車場施設が新たに稼働しました。以前の牧歌的な緩さがなくなり、役所らしさを感じられるようになりました。今回は新駐車場入口の隣りにある2階建て「観光プラザ」を訪問し、話を聞きました。

2年前から土日は原則職員の出勤はなく、SCメンバーのみでの対応となりました。

た。ベテランの遠藤、中堅の上条、新鋭の下川の3名がローテーションを組み、2名出勤で対応します。

旧庁舎時代からあの建物は何だ？と云われ、まさか観光の最前線と信じてもらえませんでした。「あそこでなにをやっているの？」とずいぶん聞かれていたとのこと。



左から上条、遠藤、下川の3会員

観光新座の最前線

十数年前「雑木林とせせらぎのあるまち新座」として、観光を掲げ「観光推進課」が発足し、ここで「課」がスタートしました。

観光協会や、ボランティアアガイド協会の事務局を兼

ね、市内外からの訪問者の色々な要望に対応してきました。

その上、市主催のイベント対応もあるので、休日の人の出入りが激しく、SCに人員のサポート要請が入りました。



土日、祭日の出勤で市内外からの訪問客に市内の観光案内をするのが主な役割です。

ここは観光プラザです

しかし、市庁舎で唯一休日オープン。「なんでも問い合わせ窓口」であり、交代わりの道案内係にもなっています。休日に市役所への電話は警備室に入

ります。市役所窓口で休日業務は観光プラザだけです。ので、全ての話が回ってきってしまうのです。お叱りを受けたり、お礼を言われることもありました。

紅葉の時期には平林寺の紅葉の具合、桜の頃には各所の開花状態、夏祭りの盛り上がり時間やお店の出具合、市民会館の催しもの情報などは心得ておかなければいけない知識です。近年は「ぞうきりんグッズ」販売の業務が追加され、イベント用「カブトムシ」の餌やりなども時として加わります。



繁忙時の忙しさは大騒ぎです。狭いプラザが外来者で一杯になり、並んで案内

を待たれるという状況も出現します。

取材当日は平林寺の紅葉見物の人と車で前の道路は大変な混雑。新駐車場全面を使って市のイベント「オープンカフェ」と「リサイクルマーケット」が併設開催中のため、応援のサーポーターの方の出入りがありいつも以上に賑やかでした。



合間を縫って遠藤さんに一言。「二度目のお勤め。以前よりは人が少ないかな？」上条さん「1月以降は就業日数が減るので残念」下川さんは「まだ半年毎回勉強です。」何はともあれ新駐車場のお陰で面倒だった市民会館への道案内が楽になりました。(吉田)

総務委員会報告 第18回リーダー研修会

10月24日(木)10時から市民会館ホールにて、総務委員会主催「第18回リーダー研修会」が開催されました。

リーダー研修会には、8委員会、地区長・地区委員、職群班正副班長、親睦会役員のリーダー会員307名のうち当日は153名が出席しました。

今回の研修テーマは、会員の高齢化に伴い、健康でいつまでも働けるためのフレイル予防についてどう対応していくかを考えるため、研修テーマは「地域で支え



講演する山田実先生

るフレイル対策」、講師は筑波大学人間系教授の山田実氏にお願いしました。

山田講師は、フレイル予防策は日常生活で「運動習慣」「良い食習慣」「社会参加習慣」の三つを实践することが重要と話されまし



出席者も一緒にフレイル予防体操

た。講演終了のあと、舞台上は当SC会員のフレイル予防

後は交流会場に移り、リーダー会員同士の親睦・交流を深めました。(山口)



フレイル予防サポーターの実演

サポーター7名によるフレイル予防体操の実演後、ホールの出席者もその場で立ち上がり、サポーターと一緒にフレイル予防体操を行いました。

今後は、会員の皆様が各地区懇話会などで開催する講習会でフレイル予防体操を習得し、その予防に努めて頂きたいと思えます。研修会終了

会員開発委員会報告 新聞折込広告を刷新

会員開発委員会では毎月2回の定期入会説明会に加えて、年3回、移動入会説明会を7か所の公民館と市民会館(女性募集限定)で実施しています。

そこで、入会説明会を広く市民の方々

に案内する手段として大きな効果を見せ

ているのが「新聞折込

告」です。最近のデータによれば、入会

説明会参加者の36%の方々がこの折込

告を見て、足を運んでくれています。こ

れは「市の広報で知って」の37%に次ぐ

ものです。

清新な折込

広告が好評

今回、その新聞折込

広告を全面リ

ニューアルし

ました。

先の「年金だけじゃち

よっと心配。そんな私に

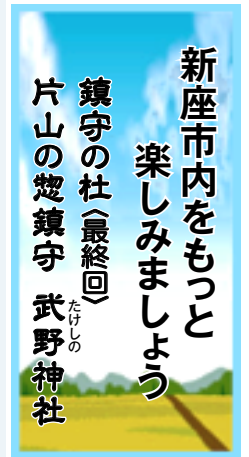
ぴったりな働き方がありま

したのキャッチコピーも好

評でしたが、今回はスキッ

と目にアピールする斬新なデザインにしました。前回の横版から縦版(B4)にし、教育(今日行く)、教養(今日の用事)を書き込んだカレンダーをデザインし、日常生活感を強調し、充実した毎日を親しく感じさせるストーリーをシンプルに表現にしたのも好評です。これからも、移動入会説明会の開催などで、当SCのPRを兼ねてフルに活用してまいります。(有賀)





神社巡りの最終回は長い歴史を持ち明治41年に近隣6か村の神社を合祀し新創建した武野神社。

物語り豊富な満行寺とともに、新座市の文化財マップに何も紹介されない不思議があります。いまだに「八幡さん」と親しまれる武野神社を散策してみましよう。

都まで聞こえた野寺の鐘

大和田水川神社と普光明寺の關係に見られるとおり、神社とその別当寺の創建時期は、宗教史的に神社が先行します。

しかし、武野神社と旧別当寺満行寺では、寺が先行します。文政2年(1828)発行の新編武蔵風土記稿に次の様な記載があります。



伝説の赤い鐘撞堂

「石神井三寶寺の末寺。境内三町南八幡山の崖下に有り八幡山弥陀院滝本坊と号す。開山開基ともに定か為らざれど古歌に武蔵野の野寺の鐘と詠めりしは此寺なり」



豊かな湧水による回遊池

七堂伽藍を有する大寺で、創置地は十二天村(現道場)でしたが現在地に正八幡宮と共に遷座されます。八幡山の麓から湧出する清水は古くからこの地一帯の耕地を潤しており、水源の安泰を願って山上に祀られています。

社伝 八幡太郎義家祈願

前九年の役出征の途次、戦勝祈願し社殿を北向きに再建したとあ



豊満な5本の鯉木



十六菊花のご紋

特徴ある境内の姿

他所からのお参りには、標識もなく分かりづらいのが残念です。今も、勢いよく湧き出る清水があ



二の鳥居は両部鳥居

ります。山の南面に別当寺がある為と思われま。由緒ある八幡宮が武野神社になったのは明治41年です。石神、栗原、野寺などの片山地区は徳川直轄領を片山七騎などが知行しそれぞれの神社が存在していました。石神水川神社、堀之内の白山稲荷、栗原の浅間神社など8社を八幡社に合祀した際、武蔵野の「武」と野寺の「野」を採り武野神社と改称したものです。



満開の赤萩

り、鬱蒼とした八幡山の参道から振り返ると、有名な「野寺の鐘」の赤屋根の鐘楼が目に入ります。堂々たる石造りの両部鳥居をくぐり、拜殿への男坂を登ります。左手には、なだらかな女坂もあります。神社としては珍しい十六菊花のご紋を戴く本殿の屋根には、立派な男千木と鯉木が男神を表しています。市内神社の中では、最もおらかな佇まいを有する本殿といえます。

それほどの広さのない境内なのですが、満行寺と共にある歴史を想う時、地域との長いかかわりを感じみと感ぜさせてくれる不思議な空間です。

その満行寺では本堂建て替え計画が進んでいます。文化・文政時建立と云われる本堂前には見事な「赤萩」が満開でした。(吉田)

言いたい放題 **時事 呆言**

あなたは前回の東京五輪の時、何をしてましたか

「見に行った、行けなかった、こんな事してた」など会員の思い出を紹介



▶ **家から見上げたブルーインパルス** ◀

当時は目黒区に住んでいて、国立競技場まで直線距離で5.5キロくらい。開会式の日は土曜日だったので、たぶん私は両親と一緒にテレビを見たと思います。もちろんまだ白黒テレビでした。開会式の中継が進んで行くうちにブルーインパルスが飛んできて、アナウンサーが「あっ、円を描き始めました」と。「ひょっとして見えるかしら」と思った私は急いで外に出ました。そしたら、見えたんですよ。円の4分の1くらいから輪になるまでずーっと見ました。5色のうち特に赤と黄色がくっきりと。ブルーインパルスが練習ではちゃんと描けていないというニュースもあったので、本当に感激しました。(見えたんですよ～ 東70歳女)



▶ **市川崑の映画で観たオリンピック** ◀

世紀のイベントを見ることなく'64年が終わろうとしていた。北海道の片田舎で高三生は進むべき道が決らず、友人宅の魚屋でバイトに忙殺されていた。オリンピックを「観た」のは翌年に公開された記録映画の中だった。市川崑が描いた「東京オリンピック」は、勝敗に拘らず、アップを多用し選手の息遣いや鍛え上げた身体から迸るエネルギーを画面いっぱいに写し撮り、その人生までも浮かび上がらせた。冬季五輪を描いたクロード・ルルーシュの「白い恋人たち」にも影響を与えた秀作だ。因みに五輪を見逃した高三生のバイト先は、平昌オリンピックスキージャンプ銅メダリストの高梨沙羅選手の実家だった。
(遅れていた青年 野火止72歳男)



▶ **新入社員の見たオリンピック** ◀

'64年の東京オリンピックは、大卒新人でまだまだヨチヨチ歩きの時節でした。10月10日は市谷で映画雑誌の出張校正の相手をしていました。当時は活字を組む伝統的なスタイルの真っ盛り。雑誌一冊分を工場に出張し校了にしながら、輪転機に載せるという切羽詰まった状況で実施されます。新原稿が入ったりして殺気立つやり取りの仲立ちが、新人の仕事です。広い工場構内を行ったり来たりする一瞬、ジェット機の轟音。上空を数機の戦闘機が飛び去り、散開して白い噴煙を吹き出し、大空に五つの大きな輪っかを描きました。ああっ！オリンピックの開会式だ。余裕のない新人時代の思い出です。
(ああっ！79歳 北野男)

▶ **兄にもらった馬術競技のチケット** ◀

'64年というと、高校に入学した年だった。中学生の弟(5男)が聖火ランナーをした写真があったのを覚えている。3男の兄は5つ年上(私は4男)で、当時朝霞の自衛隊でSS(エスエス、125mm高射砲スカイスウィーパー)の高射特科部隊でM8(エムハチ、これも2文字略語)牽引車のDrをしていた。その関係で私たち家族にオリンピック馬術競技(当時すでに法華津選手がいた)最終日のチケットをとってくれた。聖火台近くの国旗が聖火の煙で煤けていたのを記憶している。一緒に行った父母と長兄も逝き、チケットをとってくれた兄も難病ALSと闘病中でちょっと淋しい。(記憶はまだ煤けていないぞ70歳 野火止男)



▶ **11歳で綴った新聞の切り抜きノート** ◀

1964年の東京オリンピックは私が小学校低学年の時。東京の空に自衛隊による五輪のマークが見事に彩られた光景がまだ昨日のように脳裏に残っています。オリンピックに関する新聞の切り抜きをノートに綴る宿題を当時の担任から出され、母と一緒に貼り付けたことを覚えています。その大切なノートは私が40歳の頃までは東京の実家に残っていましたが、実家が火事に遭い、思い出が消えてしまいました。その母は健在で92歳。今回も私の孫と一緒に切り抜きノートに綴りつつ、人生二回目の東京オリンピックをしっかりと心に刻みたいと願って止まない今日この頃です。(レガシーの男 北野64歳)



▶ **ビートルズに夢中** ◀

早くから家にあったテレビの、'63年「初の日米宇宙中継実験放送」に朝から釘付け。突然「ケネディ大統領暗殺の速報」に切替り歴史的な実験電波の空気が一変した。NHK新人アナ鈴木史朗もラジオで速報。中2の私には衝撃的だった。時の総理は池田から佐藤へ、TV番組では品の無い昨今の芸人らとは異なり「お笑い三人組」(猫八、小金馬…)が人気。新幹線が大阪まで4時間、2480円だった。'64年東京五輪は何故か印象が薄く「アベベ」ぐらい。当時デビュー間もないビートルズに熱中していた。斬新なアレンジとサウンドでレコードランク上位を独占。なげなしの小遣いを握りしめレコード屋へ通うこと頻りで、マセタ中学生だった。(テレビっ子70歳 畑中男)



私のゆうゆう エンタメ

映画 音楽 文学 芸能 スポーツ などなど

会員の皆さんのこれまでの人生で、心に残った経験や作品や1シーンなどをご紹介ください。ジャンルは問いません。約380字と写真やイラストです。

Rugby

(野火止 7 尾形 三津子)

熊谷で「一生に一度だ」の陽気な観戦

私にもわかラグビーファン。ワールドカップを1試合ぐらいは直に見ようと思い、熊谷ラグビー場初戦の9月24日「ロシア対サモア」戦のチケットをネットで購入した。当日は熊谷駅近くでボランティアたちにハイタッチで見送られ、シャトルバスで会場へ。300台のバスが動いていたそうで流れがスムーズ。入り口の荷物検査を通過して球場へ。ボランティアが、口を縛るとラグビーボールになるゴミ袋を配っている。お宝だから2枚もらった。早速500mlのビールを買って座席で飲み始める。試合はサモアの伝統儀式「シバ・タウ」から。前半はロシアがリードしたが、後半サモアに逆転される。ほろ酔いの私はここで、劣勢になったロシアを大声で応援。2杯目はチューハイにしたが、やっぱりビールかもと後悔。試合は34-9でサモアの勝利。ノーサイドの拍手まですっかり陽気で楽しい観戦。次はフランス!?



Painting

(新堀 2 今村 牧雄)

水彩画を始めて

もともと絵を描くことは好きでしたが、現役生活を終えてから水彩画を始め4年目になります。きっかけはたまたま清瀬の絵画サークル「さわらび」の作品展を見学したこと。展示された絵画はどれも個性的で同じタッチの絵がなく、画材も油絵、アクリル、パステル、水彩と多様で楽しい作品展でした。絵画サークルは講師の指導が進めることが多いのですが、この会は講師を呼ばず会員が好きのように絵を描くことをモットーとしています。人にあれこれ指図されるのが嫌いな自分にはぴったりではないかと思い、入会しました。会員は名の通った作品展に入選するような方から、私のような初心者まで様々、画材も個性も違いますが、一回の例会と日帰りのスケッチ旅行を楽しんでいます。2019年には会発足40周年の作品展を開催しました。まだまだ下手の横好きの域ですが、例会の後の一杯を楽しみにマイペースで続けていきたいと思っています。



Movie

(野火止 7 大島 直次)

聖なる悲しみ「緑の壁」

生きることの愛しさをこれほどまでに素朴に直截的に、しかも情感豊かに描いた作品はそう多くはないのではないだろうか。大阪万博を機に創設された日本国際映画祭で上映されたペルー作品で公開は1971年。短期間の上映だったので見たという人は極めて少ないと思われる。緑のジャングルの中で無邪気に遊ぶ子供の姿や夫婦の性の営みを深く激しく描きながら厳しい自然に向き合って暮らす家族を淡々と描く。ある日、息子が毒蛇に噛まれ血清を求めて病院に向かうが、大統領の視察行列などに阻まれて間に合わず、死んでしまう。息子の遺体をカヌーにのせて川を下って行く夫婦。どこからか無言で埋葬に加わってきた隣人やその子供たちによって長いカヌーの葬列ができ、水音だけが森の中に木霊している。切なく長い静寂シーンは押し付けがましくない人生の悲しみとなって観客の心に迫ってくる。



監督・脚本はアルマンド・ロブレス・ゴドイ。

Indigo Blue

(野火止 5 亀岡 圭子)

沖縄の海のように青い藍の色に魅かれて

1年ほど前に初めて藍染めをしました。写真はその時に染めたシャツとマフラーです。夏に着ていたなら「あら、これどうしたの?」なんてみんなに聞かれました。きっかけは、六本木の展覧会で知人の画家さんが藍染めのシャツを素敵に着ているのを見たことです。後日、その方にご自宅で教わることになりました。藍の粉や溶剤、使用する道具などを全て準備していただきました。染めるものは、先生が用意した絹の生成りのマフラーと、私から持参した少し古い綿の白シャツ。型紙はなくて、糸での巻き上げ絞りを主にして、布を手で「ここを締めよう」とか「このへんを縛ろう」とか自分で考えながら作業しました。シャツの上下で色の濃淡があるのは、下半分を先に藍液から出したからです。しっかり染まった後に糸を切って水洗いすると、白い綺麗な絞り模様が見えて既に大満足。庭に干して乾くのを待っている間もとても幸せな気分でした。





故郷忘れじ難く候

北九州市出身
野火止7丁目 近藤 啓市

宮本武蔵と佐々木小次郎の決闘で名高い巖流島をご存知の方は多いと思いますが、その島の全容が見える福岡県北九州市門司区で生まれ育ちました。海と低い山に挟まれた土地で、山海の美味しい食べ物に恵まれ、歴史の奥深さに包まれた地域でもありました。

家の近くに和布刈神社があり、ワカメを獲る神事がある、今も続いています。大化の改新(645年)の頃にはその付近に「文字ガ関」



高校生のころ

が置かれ、「門司」の地名の由来になったそうです。門司港で獲れるふぐ料理は全国的に有名ですが、子供の頃から新鮮な魚介類を豊富に味わうことができました。

海岸に七輪をもって行って赤貝を獲り、その場で網焼きにして食べました。また、「関東炊き」(しょうゆ味のおでん)は屋台で売られていて、学校の帰りにお八つ代わりに食ったものです。いずれも絶品でした。

私は小学校の頃からやんちゃな性格で、悪戯ばかりして遊んでいました。近くの小川で獲れた石亀を机の中に入れて授業中に遊んで



巖流島から門司港を望む

いたら、机の中も手も糞だらけになって先生に見つかりこっぴどく怒られたことをなどを思い出します。中学でもやんちゃな性格が長じ、曲がったことが嫌いな性格が加わって、弱気を助け強気を挫く、正義の味方を気取って喧嘩っ早く、生傷が絶えませんでした。高校では剣道部、のちに

柔道部に転じて躰を鍛え、友達にも恵まれました。高い山に登って何度もキャンプファイヤーをやったことなどが懐かしく思い出されます。

います。関東平野で生まれました。育った子や孫に囲まれて居ますが、私の裡には九州男児の血が熱く流れており、あのやんちゃな時期を過ごした土地を今も忘れ難いのです。

ゆうゆうエッセイ 羽毛布団の洗濯

野火止5 工藤 冴子

昔、40数年前、パート先の上司に、出入り業者の営業マンが成績不良なので羽毛布団を1枚買ってやってくれ、と頼まれ、当時としては高額なものを買わされた。それから布団カバーはその都度洗っても、布団本体は一度も洗ったことがない。40数年来の垢、汚れ、埃、臭いなどで、ここ数年は当初の布団ケースにしまったまま。捨てたものか、クリーニングに出そうかと思案していると、コインランドリーで洗えることが分かった。しかし我が家の近くにコインランドリーを見たことがない。そんな話を、職場でしていると、コインランドリーで洗った経験者が、きれいにふわふわになるけど油汚れのにおいがするよ、と言う。



コインランドリーで洗えるなら、家の洗濯機でも洗えるのでは？洗濯機の説明書に羽毛布団は洗えるとは書いていない。しかし洗えないとも書いていない。故障の原因になったらどうしよう、不安に思いながら時短のコースで洗濯機を回してちよっと買物に出かけた。戻ってきたら、終わっていた？でも一部乾いているように見えるので、やっぱりエラーでも起こして、途中で止まってしまったのか？半分は濡れているので、このままではどうにもならない。最初からやり直し、今度は標準のコースで回してみた。しばらくそこに居て様子を見ながら...

終了して取り出してみた。一部乾いているように見えるが、それは生地の色いかも？えっ？きれいなやつ！臭いも取れた！天日干ししてふわふわ。その後洗濯機も普通に使える。良かった！

(会員撮影の写真)

私のスナップ



「^{ふよう}ド根性芙蓉」前迫 シズエ (池田5丁目)
建物の壁とアスファルトの隙間から見事に開花



「異様な色と形の雲」前田 蒿久 (野火止6丁目)
市民農園からふと北の空を見上げると、ドキッとするような光景が広がる



「緑のカーテン? いや緑の覆面だ」原田 文男 (采1丁目)
夏を過ぎても、すーっと「緑の蔓」に埋もれ続ける人家



「インド洋の夕日をバックに」茂泉 太郎 (畑中1丁目)
バリ島ウルワツ寺院奥で伝統舞踊ケチャックダンスを観賞



日頃のお孫さんのスナップ、ペットやお庭自慢、趣味やサークル・お宝紹介、もちろん旅先の絶景や思い出など、SC事務局迄お寄せください。携帯やスマホの画質設定は標準サイズ以上でOKです。

親睦会だより

令和時代に新鮮な気持ちで邁進

会長 後藤 勝義

明けまして

おめでとうございます

会員の皆様には、新年の佳き日を健やかに迎えたいと、新年のご挨拶申し上げます。

親睦会は平成五年設立から満二十七年を積み重ねて参りました。これは一重に皆様方の支えがあつてのことと考えております。益々のご協力をいただきますようお願い致します。

親睦会の大きな役割として、センター組織と連携した活動の中で、明るく元気な仲間づくりがあげられます。そのため、様々なイベントを企画してまいります。是非、多くの方に参加し



後藤会長

ていただき、会員同士の仲間意識、絆を深め合う場にしていきたくと考えております。

今後は、総会で承認された方針に添い役員一同、取り組んで参ります。次年度は、改善すべき課題などの検証を進め活動して参りますので、皆様の一層のご協力をお願い致します。

【今後の予定】

◎新春のつどい

令和2年1月26日(日)

場所 新座市民会館

第二部は会員相互の新春交流会と福引大会の予定です。

◎シルバーフェスティバル

令和2年3月7日(土)

3月8日(日)

場所 新座市民会館ホール及び2階会議室

ホールでは明るく華やかな演技が盛り沢山です。会議室では豊かな才能と技を披露します。また、各サークルの作品を展示します。

令和元年、親睦会 秋の日帰り旅行

新座市SC親睦会主催「秋の日帰り旅行」は、今回も

11月10日、11日の2日間に

わたり実施された。10日は

快晴、11日は朝のうち大雨

のち曇り。交通渋滞もなく、

両日とも定刻通りの到着となった。

【あんこう鍋・アサヒビール工場と笠間稲荷神社・那珂湊の旅】

秋の日帰り旅行参加者は

合計118名。10日は77名でバス2台、11日は41名でバス1台。両日とも新座を7時に出

発し、和光から常磐道へ。10日は最初に「アサヒビール」茨城工場でビールのできる工程

順に見学、試飲室で一人3杯、普段飲むビールとはま

は恒例の外れなしビンゴゲームで盛り上がった。

最後に笠間稲荷神社へ。境内一面に丹精込めた菊が並ぶ菊祭りを鑑賞。ほのかな花の香りが余韻を楽しみながら帰路についた。バスの中で

は恒例の外れなしビンゴゲームで盛り上がった。

は恒例の外れなしビンゴゲームで盛り上がった。



た一味違う「鮮度」にこだわった3種類のビールを味わった。

11日はビール工場のエスカレーターが不具合で見学できず、代替で

「めんたいパーク大洗」へ寄った。

昼食の「あんこう鍋は美味しかった」と好評

那珂湊の「お魚センター」では、

皆さん両手に持ちきれぬほどのお土産を買い求めていた。

最後に笠間稲荷神社へ。境内一面に丹精込めた菊が並ぶ菊祭りを鑑賞。ほのかな花の香りが余韻を楽しみながら帰路についた。バスの中で

は恒例の外れなしビンゴゲームで盛り上がった。

は恒例の外れなしビンゴゲームで盛り上がった。

は恒例の外れなしビンゴゲームで盛り上がった。

は恒例の外れなしビンゴゲームで盛り上がった。

は恒例の外れなしビンゴゲームで盛り上がった。

は恒例の外れなしビンゴゲームで盛り上がった。

は恒例の外れなしビンゴゲームで盛り上がった。

こらむ 一寸一息

「ゆうゆう通信」親睦会

ページのまとめ担当になって、はや2年が過ぎました。サークル代表の方々には、

常日頃サークル紹介などの原稿執筆を快く受けていただき、ありがとうございます。

サークル紹介が入会に結び付くことと思います。

私がSCの会員になったのは、そう古い話ではありませんが、何か所か就業は経験がありました。

最初は、小学校の夏休みの放課後の見守りでした。

体育館、運動場では見ているだけではなく、ボールなどが飛んでくれば、少しお付き合いますので汗だくでした。見守る児童たちは、1年生から高学年までいて全員元気。楽しく過ごすことができました。

このごろ、子供への虐待など悲しいことが次々報道されています。私の出来る事は、下校の見守りぐらい。先日、道路工事の案内係と間違えられました。まあいいかな。

(野口 伸)

理事会報告

第7回 (10月31日開催)

①正会員 (10月分) 男性8名、女性9名、合計17名の入会が承認された。

【10月末現在、正会員数は2142名】

②《新会員の地区委員への連絡について》

現在新規入会者が入会した際、地区委員に連絡を頂いていたが、これを廃止し地区委員が新規入会者宅へメッセージカードを持参することとなった。

第8回 (11月29日開催)

①第2号補正予算が承認された。令和元年8月より銀行の振込手数料の値上げ及び硬貨入金手数料が発生することで補正が必要となったため。

②令和元年度業務監査・会計監査等の中間報告の講評が島村監事によりなされた。

③正会員 (11月分) 男性14名、女性17名、合計31名の入会が承認された。
【11月末現在、正会員数は

2164名

④令和元年度、市民後見人養成講座受講生修了証授与式が11月26日 (火) 午後1時よりSC会議室で開催された。当講座は本年度7回目。座学30時間、介護施設などの実習を12時間、レポート審査を受けた10名が修了証を授与された。その後、弁護士



修了証を受ける受講者

の小池信行氏による「法定後見と任意後見の異同」と題した講演があり23名が出席した。

日常清掃講習会

主催：就業開拓委員会
日時：10月24日 (木)
10時～15時

場所：SC会議室
参加者：16名

講師：オール商会 (座学・実技) 岡竜也氏他

接遇・電話応対講習会

主催：就業開拓委員会
日時：11月15日 (金)
10時～15時

場所：SC会議室
参加者：15名

講師：ザール&キャリア 木村さち子氏

苦情対応講習会

主催：就業開拓委員会
日時：11月27日 (水)
10時～15時

場所：SC会議室
参加者：21名

講師：ザール&キャリア 宮本 映子氏

*家事援助講習会は2月20日 (木) に開催予定

自転車乗り方講習会

主催：安全委員会

日時：11月18日 (月)
10時～12時

場所：SC会議室、東園自動車教習所
参加者：16名

講師：新座警察署 小竹 幸男氏



真剣な表情で実技講習

『きらめき3日 (トリプル・エイチ) 運動』早めのライト・反射材着用・歩行者保護と『自転車安全利用五原則』他交通安全に関する講話とビデオ視聴。その後、東園自動車教習所において実技教習。一時停止の重要性と自転車の点検の必要性を学びました

訃報

・田辺 洋 様 (76歳) 野寺1丁目

・森下 富喜代 様 (80歳) 栄2丁目

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

【表紙のゆき】新座には朝日を撮るベストポジションがないと云われる。夕日は新開小裏門脇、市民墓園から富士をバックになど色々ある。このところ新座の夜明けをテーマに撮り続けている。今回は派手な一点をチョイス。(吉田)

編集後記

ゆうゆう通信は、報告・伝達事項の他、会員相互のコミュニケーションの場としても大きな役割を担っています。

広報委員は、そのための情報収集、取材、執筆依頼などを行うのは当たり前ですが、会員個人からの発信も欠かせない事です。

前号に引き続き、今号も会員個人からの予期せぬエッセイが寄せられ、広報委員の一人として、この上ない喜びであり、大きな励みになりました。

また、忙しいなかエッセイに合わせたオリジナルのイラストを描いていただいた会員の存在も忘れられません。感謝。(太刀川)